

2018年度 活動報告書

1、事業の成果と問題点

- (1)本年度も各事業はつつがなく遂行された。又、他団体への指導者派遣も増加して行われた。
全ての事業に事故もなく、多数の参加者のご協力により行事が遂行された。
- (2)当団体をめぐる環境も緩やかに回復しているが、まだ会員増加には至っていない。関連団体の確保、会員のレベルアップと定着を目指して研修会を催していく予定である。

事業名称	事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者の 範囲と人数
I、キャンプの普及啓発事業					
自然保護と自然活用の広報活動。自然の素材を使用したクラフト、ゲームの指導。 計画、実施、評価の資料の提供、リスクマネジメントの指導普及。会員の技術、技能、知識向上。					
I-(1) シニアキャンプ		5/3~6	富津市竹岡		スタッフ、 参加者計8名
I-(2) 第39回サマーキャンプ	キャンプの楽しさを体験	8/10~14	国立那須甲子 少年自然の家	スタッフ 38名	参加者 子ども 41名
I-(3) 地域の子ども向けキャンプ	クラフト指導	8/29	雄鹿野 自治会館	スタッフ 2名	子ども 16名 大人 29名
I-(4) シティ サバイバルキャンプ	野外力検定 BUC参加 キムスゲーム、丸太切り 火起こし、匂い、仮設トイレ他	9/30 悪天中止	国立大学法人 千葉大学 教育学部	-	-
I-(5) 秋の収穫祭	山形風芋煮会	11/3~4	誉田 キャンプ場	スタッフ 7名	参加者 17名
I-(6) いろりを囲んで	キャンプ料理、キャンプソング	12/2	さざんかの家	スタッフ 7名	参加者 7名
II、指導者養成事業 (公社)日本キャンプ協会認定 キャンプインストラクター養成講習会					
II-(1) ボルダリング講習会	ボルダリング訓練	6/3	グリーンアロー	スタッフ 7名	子ども 10名 大人 3名
II-(2) 講習会	担当 市川市キャンプ協会	10/6~8	いちかわ市民 キャンプ場	講師 5名 スタッフ 4名	受講者 11名
III、キャンプに関する研修事業 調査研究、講習会					
III-(1)キャンプソング研究会	船橋市キャンプ協会	6/3	海老川堤	スタッフ 7名	参加者 80名
III-(2)都道府県指導者講習会	日本キャンプ協会	6/10,10/28	NYC	-	参加者 100名
III-(3)キャンプソング研究会	船橋市キャンプ協会	10/7	海老川堤	スタッフ 5名	参加者 30名
III-(4) 関東ブロック会議	日本キャンプ協会、埼玉県	12/2	NYC	スタッフ 5名	参加者 13名
IV、指導者派遣事業					
IV-(1) 障害者デイキャンプ	千葉県身体障害者協会	6/30	市原市 農業センター	スタッフ 20名	参加者 80名
IV-(2) テント設営講習会	テント設営	7/8	行徳小 八幡小	スタッフ 4名	参加者 40名 参加者 40名
IV-(3) 防災キャンプ	防災食、クラフト	8/25~26	船橋市立 湊中学校	スタッフ2名	参加者 96名
IV-(4) 野外力検定	計測、丸太切り、松ぼっくり釣り 火起こし、ロープワーク	1/27	NYC	スタッフ25名	参加者 73名
IV-(5) 市川市縄文フェスタ	キャンプクラフト	2019 3/24	市川市 考古博物館	スタッフ 10名	参加者 110名
V、広報事業					
機関紙 Pマック発行	P-マック64号 (発行部数) 1000部 2018.8.15発行				
	P-マック65号 (発行部数) 1000部 2019.2.15発行				
VI、その他					
市町村協会組織化事業	千葉市キャンプ協会				
	市川市キャンプ協会				
	船橋市キャンプ協会				

